

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和6年度第2回社会教育委員会議
開催日時	令和7年2月27日（木）午後2時00分から午後4時00分まで
開催場所	戸田市立教育センター 2階 会議室
委員長等氏名	社会教育委員会議 委員長 宮地孝宜
出席者氏名 （委員）	宮地孝宜、佐藤勝巳、阿部央憲、板橋哲、稲垣茂、加藤ちあき、高松麗子、 中村英美、渡部淳子
欠席者氏名 （委員）	熊木保衛、須田真司、山本学
事務局	冨田主幹、木内主任、徳永主事、向後主事補
説明のため 出席した者	なし
議 事 等	（議事） （1）令和7年度講座実施計画（案）について （2）令和7年度家庭教育支援事業について （3）「戸田市生涯学習推進ビジョン」骨子（案）の策定について （報告事項） （1）戸田市民大学修了者大学聴講等補助金交付要綱の一部改正 （2）戸田市生涯学習人材バンク要綱の一部改正 （3）戸田市立芦原小学校生涯学習施設運営要綱の一部改正 （4）令和6年度文部科学省表彰について
会 議 結 果	別紙のとおり
会議の経過	別紙のとおり
会 議 資 料	・ 次第及び資料一式 ・ 資料 1-1～1-9
議事録確定	令和7年3月21日 社会教育委員会議 委員長 宮地 孝宜

(会議の経過)

発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	次第１ 開会
	次第２ 委員長あいさつ
事務局	次第３ これより議事及び報告事項に入る。
	議事の進行については、「戸田市社会教育委員の会議に関する規則」第３
	条第３項に基づき、委員長にお願いする。
	※議事に入る前に傍聴人はいない旨報告。
委員長	資料に基づき議事１について、事務局から説明願いたい。
事務局	議事１ 令和７年度講座実施計画（案）について
	概要：令和６年度市民大学講座の成果と課題を報告し、令和７年度の講座
	計画（案）について提示。
委員長	議事１について、意見・質問等あるか。
委員長	受講者同士の交流の少なさと学びの広がりに関する方策が課題として挙
	げられたが、事務局において令和７年度の事業で行いたいことはあるか。
	また、計画の中に反映しているものがあれば伺いたい。
事務局	まだ具体的な検討には至っていないが、交流に関することの取組として
	は、講師と調整したうえで講座に関する感想を受講者同士で語り合う時間
	を設けることを考えている。学びの広がり取組としては、公民館、図書
	館、博物館の社会教育施設を中心に、関連講座や展示等の事業の紹介を行
	い、次の学びに自らつなげられるしかけづくりを検討している。
副委員長	公民館をはじめ社会教育施設においても多くの講座を実施していて感心
	している。講座計画とは別で、生涯学習の一環で市役所が主体で行ってい
	る「まちづくり出前講座」の現状はどうか。今どこが取りまとめているか。
事務局	まちづくり出前講座は生涯学習課が実施し、とりまとめている。令和６年
	度の実績や事業報告を、各課に現在照会しているところであり、正確な参

	加者等の実績の数字は次回会議でお知らせすることが可能である。傾向として、学校、PTA、町会、市内事業所等が多く活用をしているようであるが、市民団体の勉強等での実施はコロナ禍以降減少傾向にあるようだ。（コロナ禍以降の令和4年度は延べ3,608人、令和5年度は延べ2,903人、コロナ禍以前（令和元年度）は延べ8,000人程度が参加）
副委員長	団体が申し込まれていると思うので、団体の中での交流が出前講座を通じて発展していくのではないかと感じた。その点も研究しながら出前講座をプランニングしていくのもいいのではないかと感じた。
委員長	まちづくり出前講座を知らない委員もいると思うので、どのような課がどのような講座を実施しているのかなど教えていただきたい。
事務局	財政や土木、建築、教育など幅広い。一例として、市政の説明、広報の方法、空き家対策、交通安全、図書館、博物館等教育の内容など幅広い分野のメニューがある。
委員長	副委員長からの意見にあるよう、出前講座を有効に活用していけば、交流や事業の発展につながられるだろう。また、今後実施状況等をこの会議で報告いただければと思う。 社会教育委員の会議の役割のなかに計画の立案があるが、生涯学習推進計画だけではなく、年間事業計画もその一つだ。具体的に一から作るのではなく、事務局が作成した単年度の事業計画案に対し意見を述べ作っていくこともその内容に含まれる。意見やアイデア等は他にないか。
委員長	現代課題講座は、令和6年度は金融がテーマとのことであるが、過去にどのような内容で行ってきたか。令和7年度は災害がテーマであるが何か具体的なアイデアはあるか。
事務局	令和5年度は、情報リテラシーのテーマで実施した。災害については現時点での事務局案である。現代的課題に関する他のテーマも視野に検討していく。
委員長	現代的課題は情報、災害など様々なテーマがあるだろう。例として、戸田

	市では外国人住民が増えていることも踏まえ、多文化共生等も挙げられる。災害を扱うとしても、その中で何を学ぶのかという点である。住民同士での助け合いに向けたネットワークづくりなどの視点もあり、担当課との連携等も必要になってくるだろう。 現代課題講座以外でも何か意見・感想等ないか。 対象が小・中学校の保護者となっている講座もあるが、意見等あるか。
委員	学校主体で家庭教育講座を実施する機会がなくなってきた。子育て世代は共働き等で忙しい人が多い。集合形式だけではなくオンデマンドの実施等いつでも受講できるような方法で行うのは、子育ての支援につながるだろう。引き続き検討していったほしい。
委員長	令和6年度は睡眠の質をテーマとされている。議題2につながるが、子育て論よりも、具体的なテーマを扱う方が市民に喜ばれる傾向にあるか。 最近は性教育の重要性や子供を取り巻く犯罪等に関する話題もある。子供が置かれた現在の状況を踏まえて何か意見はあるか。
委員長	実施方法では、施設見学以外の講座においてはオンデマンドも活用しているということか。
事務局	生涯学習担当が実施する講座については、原則全ての講座を会場とオンデマンドのハイブリット受講方式で実施している。「とだ学」のような施設見学や実技系の講座に関しては難しいが、そうでない限りはオンデマンドを実施している。
委員長	他に意見等ないか。 社会教育委員として何か気が付いた点等があれば、会議後も事務局まで意見を出していただけると有り難い。 〈委員からの意見なし〉
委員長	他に意見等ないようなので事務局案を承認ということでよいか。 〈意義なし〉
委員長	議事2について事務局から説明願う。

事務局	議事 2 令和 7 年度家庭教育支援事業について 概要：令和 7 年度の家庭教育支援事業の取組として、新たに「家庭教育ショート動画コンテンツ集」を運用する旨を説明。
委員長	意見・質問等あるか。
委員	興味深い取組である。動画コンテンツはホームページに掲載ということであるが、そこに行きつくまでの道のりが遠いように感じる。動画へアクセスしやすくなる方法が気になった。また、30 秒程度のお弁当のおかずや片付け動画等、SNS 上には様々な子育てに役立つ動画が挙がっている。
事務局	周知方法については、他の生涯学習情報の発信と同様に市公式 SNS で発信する。他に、小・中学校の全保護者に直接アプローチするために Home & School での周知を検討している。その際には、文字情報ばかりではなく、イラストを入れて分かりやすく興味を引くような案内に努めたい。 また、SNS や動画サイトに様々なコンテンツがあるのは承知しているが、市民にとって身近な市職員の専門職が、特に保護者の方々に伝えたいことなどを盛り込んだ戸田市独自のコンテンツにしていくことがポイントである。市長部局の中でも、保護者に知ってほしい・伝えたいと思っている情報が沢山あるようだ。しかしながら発信の仕方がわからない・学校を通じての周知に壁を感じる、との悩みがあるとの話を聞いている。そうした課への支援にもつながるかと思われる。
委員長	発信の際には、二次元コードをつけてすぐに動画にアクセスできるようにすることや、メールだけではなく紙での発信も併せて行うなど工夫を検討してほしい。
委員	動画集はアプリを作るのではなく、市公式 HP 上で YouTube 動画を挙げるということであるか。
事務局	アプリを作成する予定はなく、現時点では、市民大学アーカイブズの中に「家庭教育」などのカテゴリを設け、そこに動画を集約したいと考えている。

委員長	大事な情報であるので、バナーなどを設けて、ホームページで大きく周知しても良いのではないかと思います。また、名称も工夫した方がよい。 コンテンツのテーマ案が挙げられているが、その点についても意見はあるか。
委員	戸田市の専門職を活用したオリジナル動画ということで、具体的にどのようなことかわからないし、作成にどのくらいの時間が費やされるかがわからないが、例えば虫歯の動画であれば、地域に出ていき歯科医院でロケをし、病院等の紹介をすれば、見た人が行ってみようという気持ちになるのではないか。逆に撮影した病院等で紹介してもらえば、動画を見てみようという動機付けにつながるのではないか。つながりを通じて知ってもらうというのはどうか。
委員長	地域や外の機関・団体と連携も、一つの方法として検討していても良いのではないか。 会議資料に「家庭教育に資する学習機会・情報提供の取組として、家庭教育講演会、公民館講座『等』」とあるが、講演会・講座以外にどのようなことを行っているか。
事務局	小・中学校等の要望に応じて、埼玉県家庭教育アドバイザーの派遣の調整を実施しているほか、PTAの家庭教育学級の講師料の一部の助成を申請に応じて行っている。 なお、県の家庭教育アドバイザーは、入学説明会や就学時検診で活用されているが、学校ごとに実施の方法が異なるため、全校に派遣を依頼しているわけではない。
委員長	作成した動画を今見ることはできないか。
事務局	現在内容を調整しているところである。
委員	コンテンツ作成にあたり専門職の活用との話しがあったが、ナビゲーターをつけるなどの予定はないか。シリーズを通じて戸田市のゆるキャラなどのナビゲーターが案内していくような見せ方である。

事務局	コンテンツの元となる資料の作成は各課の専門職に依頼し、動画の編集を当課が行う。より伝わりやすくするために動画の流れや情報の見せ方等は、各課の専門職と社会教育主事、社会教育指導員等とともに検討していく予定である。全体のナビゲーターの予定はしていないが、よりわかりやすいものとしていくために今後の参考とさせていただく。
委員長	著作権等の扱いについても慎重に行って必要がある。今度気を付けてほしい。動画も増えていくなら、SARTRAS などしかるべき機関との契約等を将来的に検討していったほうがよい。
事務局	著作権の扱いについて注意をして進めていきたい。
委員長	他に意見・質問等あるか。 〈意見・質問等なし〉
委員長	意見等ないので、議事2を承認するということでよろしいか。 〈意義なし〉
委員長	議事2について承認する。
委員長	議事3について、事務局から説明願う。
事務局	議事3 「戸田市生涯学習推進ビジョン」 骨子（案）の策定について 概要：「戸田市生涯学習推進ビジョン」 骨子（案）や策定の進め方等の広報性を資料に沿って説明。
委員長	骨子（案）の「将来像」にある、「個人の成長」、「みんなの成長」、「まちの成長」について。「成長」という言葉で統一しており、流れも良いと思う。しかし、その中の「学びから広がるつながりの形成」は「つながり」を意識しているのでそれが「みんなの成長」という言葉で表すことは適切なのだろうか。 また、「まちの“成長”」がわかりづらいように感じる。国や県の計画の目標に「人づくり・地域づくり・つながりづくり」とあるよう、ここでもま

事務局	ちづくりや地域づくりを示しているのであろうが、これが「成長」の言葉で表現することが適当なのか。 骨子案を事務局としてどのような考えや思いで作られたか。 10月22日に実施した意見交換会の結果をもとに事務局案として作成をした。意見交換会で出た意見は、個人、市民同士や仲間、市全体や地域という3つの観点に整理できたと考える。まず、楽しんで学習をしていく中で目標をもって生活していく、自己実現を達成し、生活の質を高める、より良い自分になりたいという意見から、「個人の成長」とした。学び合いを通じて、相互を理解し、認め合い、高め合う、自分も他人も成長したいということで「みんなの成長」とした。言葉の中に色々な思いを詰め込み過ぎてしまったかもしれない。そして、学んだことをより良いまちづくりに生かす、学びを通じたつながりづくりによっていつでも戻って来られる自分の居場所が戸田市にあれば良い、という意見があったことから「まちの成長」と表現した。 個人からみんな、そしてまち全体へ学びによる良い効果が広がっていくイメージをもって作成した。事務局もこれらが「成長」という言葉に当てはめて良いか考えたが、現段階の案として、提示したとおりの3本柱とした。言葉の選び方を含めて今後検討していただきたい。
委員長	この将来像の部分は、「キャッチフレーズ」、「目指す姿」とともに大きく全面に出していくものであるため、皆がイメージしやすい言葉を検討していく必要があると考える。言葉の選び方を今度検討していく必要があるだろう。 事務局案全体について、全員に意見・質問・感想等をいただきたい。
委員	行政が作成したもののためか、全体的に硬いと感じた。「生涯学習」の説明は行政的には資料のとおりであろうが、例として「人生は勉強の連続！」などの一言でも伝わるのではないだろうか。漢語を大和言葉的にやわらかくするイメージで表現してみてはいかがか。漢字が減ると良いと感じる。 3つの「成長」についても、「学んで・広げて・支える」の部分のみ取り出すと簡単なキャッチフレーズになる。不要な言葉を省いていくこともわかりやすくする工夫につながるのではないか。

事務局	ご指摘のとおりわかりやすい表現が重要と考える。「ウェルビーイング」や「持続可能な社会のつくり手」など普段聞き慣れない・わかりづらい言葉なども伝わるように工夫していきたい。子供から高齢者の、みんなのビジョンがコンセプトであることから、伝わるように言葉を選びたい。
委員長	「学んで・広げて・支える」はキーワードになるだろう。検討いただきたい。
委員	同様の意見で、わかりやすく・シンプルにすることがよい。計画期間については、新しいことがめまぐるしく発生する現在の社会においては、見直しのサイクルは短めが良いと考える。
委員長	ビジョンの見直しサイクルの意見があるが、事務局いかがか。
事務局	ビジョンの期間については、市の最上位計画である「戸田市総合振興計画」や「教育振興計画」との整合性も考慮しながら検討していきたい。
委員	10月22日の意見交換に参加した。それぞれの班から出た意見がこうしてまとめられ感銘を受けた。骨子としてまとめられたことは伝わったが、更に1枚の「生涯学習推進ビジョン」にまとめるにおいては、より簡潔にまとめると伝わるのではないか。骨子には説明が多く書かれているが、1枚物のビジョンの方はキャッチャーでわかりやすく、イラストを配置することで見やすくする方向性が良いのではないか。伝わる言葉遣いのほか、総合振興計画と同じ期間の10年間使用することを見据えた、最新のキーワードを検討することが大切だ。
事務局	伝わる言葉づかいを心掛ける。
委員	高齢者の一人としての立場から意見を言うと、内容がやや難しい。説明を聞いていて、胸にジンと来なかった。どのような基準でまとめたか、伝わる言葉でまとめてほしい。年代に合わせて全体的に分かりやすい言葉を選べば、見た者が理解してもらえるかと思う。
委員長	子供から高齢者までが見て内容がわかるものにしていく表現ができると

	良い。子供に関しては、子供版を作ってみるのはどうだろうか。いずれにしても全員が分かるようにする必要がある。内容も大切だが表現も大切であるので検討して欲しい。
委員	スポーツ分野の立場から意見をすると、最近、スポーツをする子供が少なくなった。そういった点も内容に入れていただきたい。市内の公共施設では、子供のたまり場となっている例もある。遊び場をつくるのもよいが、スポーツで人を集めることなども入れてはどうか。
事務局	子供からの市への意見について、市長部局ではこどもパブリック・コメントを実施し、その中で公民館などの社会教育施設でやりたいことなどの意見を聞いた。子供の意見・視点等も方針に反映させたい。具体的な施策は、教育振興計画の中で示していくこととなる。
委員長	スポーツ・レクリエーション活動も生涯学習活動の一つであり、重要なご意見だ。具体的に「スポーツ」のみを方針の中に入れていくことではないだろうが、そのような視点を反映していくことは大切だ。
委員	1枚物の「生涯学習推進ビジョン」の案の中に「楽しそうな感じに表現」とあるので、ここから更にやわらかくすると良いと感じた。現状のままだと文字が多いと感じた。
委員長	特にこの1枚物の「生涯学習推進ビジョン」の方は、視覚的にも伝わるよう工夫をしていくと良いとだろう。 また、そもそも「ビジョン」とは何か。それについて議論をしたことがあったか。「ビジョン」という言葉を使用すること自体もそれでよいのだろうか。定着している言葉であるからこそ、わかりづらくなっていることも考えられる。
委員	自分の人生において「ビジョン」を作ることがなかったので、このようなことが市で行われているということを知れたことに感謝である。 硬いとの意見が出たが、逆に意見交換会の内容をやわらかくまとめられたなと感じた。事務局からの分かっていたきたいという気持ちが伝わってきた。

副委員長	会議室に掲示されている学校の目標をまとめたポスターを例にすると、学校によっては文字が多く、目には入っても内容までは見ない。中身まで頭に入ってこない。きれいにまとめても文字が多いと読んでもらえなく、もったいないと感じる。記載する言葉を厳選していくことが必要だろう。先ほど「誰でも」とあったので、イラストで見て伝わるものはイラストのみで表現するなどしてはどうか。 生涯学習という言葉がわかりづらい・知名度が低いという状況が、生涯学習の施策が始まった頃から変わっていないのはいかがなものかと思う。国をはじめ行政が様々取組んできたことから、それなりに浸透はしていると思われる。「学習」とらわれてすぎているためか、事務局案には「学び」という言葉が常にでてきている。また、学びを楽しむ、学びによってつながる、支え合うということは、一般の人にとってはハードルが高いように思う。「学び」という言葉についてもう少し掘り下げて考えて、キーワードを挙げていけばよいのではないだろうか。文字数が多いという意見が多く出ているので、1枚にまとめていくのであれば、学びという言葉を何かに変換し1つや2つの言葉で言い表せることができればよいと思う。他の議事においても委員の中から生涯学習や家庭教育を別の表現で・わかりやすくという意見があった。生涯学習という言葉をあえてそのまま使わないなど、そこから考えても良いのではないかとも思う。 また生涯学習は最終的には個人が行うことであるが、個人が行う学習を最終的にまちづくりに生かしていこうというものである。行政として、市民をどのようにまちづくりに参加してもらうかというイメージがあるだろうが、そうしたことを生涯学習とうまくリンクさせるといいアイデアが打てるのではないだろうか。 個人の学習に行政がなぜ介入するのかと聞かれたことがあるが、それは、まちづくりやまちを良くすることにつなげるためということであり、市民一人一人にそれにそった学びを提供するということである。そのイメージを貫く形でできればよいのではないか。 生涯学習という言葉にとらわれすぎず、少し発想を自由な方向に転換させるとよりよいものができるのではないかと考える。 自ら学ぶことを強調されて「生涯教育」から「生涯学習」という言葉が誕生してきたが、「学び」が強く全面に出てくるので固く難しいイメージで浸透しないのか。いかにより良いまちにしていけるのかを考えていくことを
------	--

	大局的に見ていくことが良いのではないかかという感想をもった。
委員長	確かに「将来像」の出だしの言葉は全て「学び」だ。生涯学習の振興ということで、このような表現になるのは致し方ないことかもしれないが、趣旨が伝わって、行政活動に反映しつながっていけば良いことである。中身を精査し、うまく表現していければと思う。 事務局案の言わんとしていることは間違っていないと思うが、今後どのような形でまとめるか検討し、会議でも検討していきたい。
委員長	他に意見・質問等あるか。 〈意見・質問等なし〉
委員長	議事３は承認ということでよろしいか。 〈意義なし〉
委員長	議事３は承認する。
委員長	報告１について事務局より説明願う。
事務局	報告１ 戸田市民大学修了者大学聴講等補助金交付要綱の一部改正 概要：①聴講生制度の定義を拡大し、履修証明制度及びその他公的機関が行う生涯学習講座又はそれに類似する事業を追加する。②複数回修了者が補助金を再度利用できるよう、修了証の交付１回につき１回の申請補助とする。
委員長	NP0 法人が実施しているシブヤ大学のようなものも対象となることか。
事務局	区民や市民限定等のものでなければ対象とする。 その他質問等あるか。 〈質問等なし〉
委員長	報告２について、事務局から説明願う。

事務局	報告2 戸田市生涯学習人材バンク要綱の一部改正 概要：①登録者を市内在住・在勤・在学者に限定し、市の人材の発掘・活用を促進する。②市ホームページへの画像の掲載を可能とし、更なる利用促進につなげる。③登録者の掲載内容を定期的に更新するため、登録期間を3年から1年に変更する。
委員長	人材バンクの活用状況はどうか。
事務局	今年度については学校の授業や教育支援センター「すてっぷ」等から利用の相談を受け講師を紹介したほか、市民企画講座の企画の募集、公民館講座の講師としての登用など活用を行った。
委員長	登録しているが活用がされないという課題がどこの自治体でもあるようだ。周知を工夫するようなので、登録人材の活用をし、学びを広げていてほしい。
委員長	他に質問等あるか。 〈質問等なし〉
委員長	報告3について事務局から説明願う。
事務局	報告3 戸田市芦原小学校生涯学習施設運営要綱の一部改正 概要：①施設の種類の変更 学童の設置に伴い「ふれあいラウンジ」を廃止し、「生涯学習ギャラリー」を「ふれあいコーナー」として児童等が活用しやすいものとする。②「生涯学習ギャラリー」を「ふれあいコーナー」とする用途変更に伴い個人利用できる旨を要綱及び様式から削除する。
委員長	質問等あるか。 〈質問等なし。〉
委員長	報告4について事務局から説明願う。
事務局	報告4 令和6年度文部科学省表彰について 概要：①第77回優良公民館表彰を下戸田公民館が受賞した旨を報告

	②令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰を美谷本小学校PTAが受賞した旨を報告
委員長	質問等あるか。
副委員長	令和5年度的美笹公民館に引き続き、2年連続で優良公民館を受賞したのは良いことである。各公民館が様々な取組を行っている中で評価され、市民にとっても名誉なことである。しかしながら、資料に記載の「職員数」を見ると、兼務の4名で社会教育主事発令者ゼロとあり、この状況は各館も同じ状況であるだろうが、社会教育主事などの専門職がいない状況であっても十分な取組ができること・専門職が不要であることを証明してしまっているのではないだろうか。果たしてこの状況はいかがなものか。是非市として、専門職を増やす方策を検討し、資格を取得しようとする職員を応援して欲しい。 以前は、生涯学習課の職員を必ず社会教育主事講習に派遣して資格を取得させるなど、専門職の育成に力を入れていたようである。市として専門職を増やすことを視野に取り組んで欲しい。もったいない状況のような気がする。
委員長	公民館には、館長を置き、主事を置くことができることになっている。それぞれ専門性が求められるが、社会教育主事の有資格者の配置についても是非今後検討願いたい。
委員長	他に質問等あるか。 〈質問等なし〉
委員長	以上で議事・報告事項は終了する。進行を事務局へお戻しする。
事務局	以上で令和6年度第2回戸田市社会教育委員会議を終了する。 閉会／午後4時00分